

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 27 日

事務事業名		大和の石まつり開催助成事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050203000544	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	050301	
政策体系	総合計画の施策名	0502		商工業の振興		主要事業		商工観光課		
	政策名	05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト				
	施策名	02 商工業の振興				未来PJ事業		グループ 商工観光グループ		
	基本事業名	03 石材業の振興				合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	02	01	00	商工振興事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	大和の石まつり実行委員会(事務局:桜川市商工会)が主催する「大和の石まつり」に対する補助金の支出 ・地場産業として石材業を広く宣伝し地域経済の活性化を図る。 ・石製品、機械工具、大和の特産品(農産物)の展示販売 【参加協力団体】 桜川市商工会石材部会員、商工会青年部、商工会女性部 茨城県真壁石工技能士会、JA北つくば大和支店、機械工具関係
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	・補助金支出(申請受付→内容審査→交付決定→実績報告書受付)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・補助金支出(申請受付→内容審査→交付決定→実績報告書受付)	イベント開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
大和の石まつり実行委員会(事務局:商工会) 石材事業者(出展者)	出店事業者数	社	38.00	41.00	50.00	50.00	50.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
大和の石まつりの開催を支援する	来場者数	人	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
	成約件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	2,000	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,000	-2,000	2,000	2,000	2,000	0
	事業費計(A)	千円	2,000	0	2,000	2,000	2,000	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	18.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
	人件費計(B)	千円	52	58	58	58	58	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,052	58	2,058	2,058	2,058	

27年度事業費 実績(千円)

28年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳				19 負担金補助及び交付金	2,000		
		合計		0			合計

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	大和の石まつり開催助成事業	事務事業No.	50203000544	所属課	商工観光課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
旧大和村で平成元年から地場産業である石材業を広くPRし地域活性化を図るために開催された。合併後も継続して開催費助成金を支出している。H27年度は「まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地域住民生活等緊急支援のための交付金」による「桜川市石材支援事業」国補助金を財源として助成した。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> ・桜川市商工会から補助金の維持が要望されている。 ・ストーンフェスティバルに比べて売上げに結びついているという出展者の声がある。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
	非常に高い補助割合を認める条件として、今までよりもっと詳細な成果を報告してもらうことで補助額に説得力を持たせること、もしくはイベント内容や経費の見直し等によりより効率的な運営をしてもらうことで、補助金を減額するなど、今後補助をする妥当性や公平性を見直す。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	特産品である石材業のPR及び地域経済の活性化につながるイベントであり、市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地場産業である石材業の振興のために、開催費助成金を支出してイベントを支援することは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	イベントの内容を見直すことにより、来場者が増加する可能性はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	石材業界を取り巻く環境が厳しい中で、出展事業所からの出展料収入でイベントの運営をすることは難しくなっている。補助金を廃止した場合、イベントの廃止・規模縮小などにつながり、市内石材製品をPRする機会が減少する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) →)	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的手段、事務事業名 いばらきストーンフェスティバル開催助成事業 笠間市で開催されているストーンフェスティバルと統廃合することも可能だが、石まつりが販売主体、ストーンフェスティバルがPR主体ということもあり、事業者からは反対されている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	総事業費に占める補助金の割合が約70%と大きいため、補助額の見直しを検討すべきと考えられるが、補助金に依存している現状から、減額は事業の縮小・廃止につながる可能性が高く、成果が下がると考えられる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	イベントの総事業費に占める補助金の割合が大きいため、見直し余地はある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	他の補助事業と比べても事業費に対する補助の割合が大きいため、今後適正な金額がいくらか、検討する余地はある。H26年度は補助金交付要項を制定したが、実績報告書においてもっと詳細な成果(成約件数・売上高等)を報告してもらうことが必要と考えられる。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上	○																								
	維持			×																						
	低下			×																						
地場産業である石材業の振興と保護という観点から、ある程度の優遇はやむを得ない部分はある。また、昨今の不況により石材業者が苦しい状況であり、厳しく成果を求め、補助額を減額するなどした場合、イベントの縮小や廃止等により石材業の衰退に拍車をかける可能性もある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>